

福井市内49地区社協と市社協をつなぐ情報紙

# むすんで ひらいて

第39号

発行日  
平成30年3月

発行：福井市地区社協連絡協議会  
〒910-0018 福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階  
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)  
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

## 地区社協と学校の関わりをテーマ

### 地区社協連絡協議会 連絡会・年賀会

1月24日、福井県民ホールにおいて、各地区社協の役員等約150名が参加し、福井市地区社協連絡協議会1月連絡会を開催しました。

今回の会議では、「地区社協と学校の関わり」をテーマに情報交換を行いました。冒頭に、福井市社会福祉協議会から福祉教育について説明していただいた後、宝永、旭、円山の3地区社協がそれぞれの活動を発表しました。各地区とも、地域の実情に合わせた先進的な取り組みがなされていて、新たな気づきや発見がある場となりました。引き続き開催された年賀会でも、福祉教育について語り合う姿が見られました。



### —福祉教育はなぜ必要なの?—

#### その1 ノーマライゼーションの実現

- ① 地域の方々と出逢う
- ② さまざまな人々と関わる
- ③ 多様な生き方にふれる

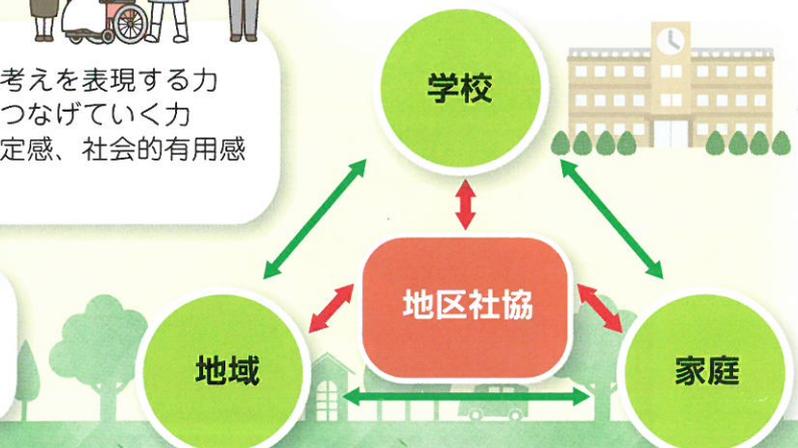


#### その2 「ともに生きる力」を育む

- ① 命の大切さ
- ② 思いやりの心
- ③ 自分と違う立場の人と認め合う力
- ④ 人の気持ちに共感できる力
- ⑤ 自分の考えを表現する力
- ⑥ 実行につなげていく力
- ⑦ 自己肯定感、社会的有用感

#### その3 地域福祉活動の推進の一環

- ① 地域の現状や課題を知る
- ② 生活のしづらさに焦点を当てる
- ③ 気づいて、行動へ



# 自治会型デイホーム 協力ボランティアさんのなかみ

地区社協活動のひとつに自治会型デイホーム事業があります。  
この事業は、高齢者の方が身近な公民館や集会場（49地区 51区域 約500会場）に集まり、専任職員さんや（※）や協力ボランティアさんと交流しながら、レクリエーションや健康づくりなどを行う介護予防活動です。  
今回は、各地区各会場の特色をいかしながら、様々な形で活躍される協力ボランティアさんの活動の様子を紹介します。

（※）専任職員とは、市内各地区に1名配置された自治会型デイホーム事業の企画運営にかかわる職員のことです。

取材にご協力いただいたのは、3月の木田地区木田公民館の会場に参加された方々です。  
この日は、会場に自治会型デイホームの専任職員さんと13名の参加者の方々に加え、協力ボランティアとして、民生児童委員3名、福祉委員2名、ボランティア2名の方々が集まりました。

## 自治会型デイホーム 協力ボランティアさんの 一日の流れ

- 12:45 準備  
- 机・椅子の準備、お茶・お菓子の準備
- 13:00 受付  
- 名簿のチェック  
- 出席カードにスタンプを押印
- 13:30 ゲーム、体操  
- 参加者の皆さんと一緒に参加  
- 専任職員さんの補助
- 14:45 ティータイム  
- お茶・お菓子の配布
- 15:05 健康情報の提供、間違い探し  
- プリント・鉛筆の配布
- 15:30 後片づけ  
- 机・椅子の片付け、洗い物

## 協力ボランティアさんたちの 会話の様子

**注目**

最近〇〇さん、来ないね…。

今日、参加している近所の△△さんに誘って来てもらうとどうかな。

一回、私も〇〇さんの家に行って、様子みてくるわ。

自治会デイホームでの見守り  
- 日々見守り活動へのつながり -



木田元気カード（出席カード）にスタンプを押します

## 準備

12:45

会場のお部屋に机や椅子を並べたり、水分補給用にお茶を沸かしたり、ティータイム用のお菓子を仕付けします



専任職員さんが買ってきたお菓子を一人ずつ小分けにしています

## 受付

13:00

受付で参加者の方の名簿をチェックし、名札を渡します  
お席に座った参加者の方から順に出席カードにスタンプを押します



「こんにちは♪ ようこそ」  
受付で名札を渡します

## ゲーム 体操

13:30

参加者の皆さんと一緒にゲームを楽しみつつ、参加者の方への気配り、目配り、手配りも忘れていません



参加者の方にゲームの小道具を配ります



## ティー タイム

14:45

参加者の皆さんにお茶やお菓子を配ります



お茶をいれます  
「熱いので気を付けてください」



「お菓子どうぞ～」  
お菓子を配ります

## 健康情報 間違い探し

15:05

参加者の皆さんにプリントや鉛筆を配ります



チラシを配ります  
「来月もお友達を誘ってきてください」



協力ボランティアの  
民生児童委員の漆崎東志夫さん（右）  
福祉委員の西正光さん（左）

## 後片 づけ

15:30

会場のお部屋の机や椅子を片づけたり、洗い物をします



椅子を片づけます

### ■協力ボランティアとして活動してみ て感じることは？

（漆崎さん）参加者の皆さんがニコニコされていると、やっつけて良かったなあ自分自身もすごくうれしい気持ちになります。

### ■協力ボランティアとして心がけていることは？

（西さん）協力ボランティアだと意識せずに、自分も参加者の一人として毎回、楽しんでいます。その中で出来ることをしているというだけです。



# 地区社協の活動と取り組みを紹介します

市内49地区社協の活動を順番に自己紹介しています。

## 一光地区

### 「持ちつ、持たれつ」



昨今は人にも社会にも、無関心という人が増えてきました。「向こう三軒、両隣り、皆仲良し」等の言葉は、ノスタルジアを感じさせる様になってきました。しかし、当地区においては、住民意識の底流に「感謝」を基調にした「持ちつ、持たれつ」の互助精神が脈々と流れていると思います。この事は、地区にある唯一の公共施設、一光公民館が掲げる「地域は家族」のスローガンに表れています。お陰で、どんな行事も高参加率！地区社協もこの土壌に立って、同じ方向で活動しています。その中でも、毎年恒例の一光地区社協主催の活動を紹介します。



ムでの作品、盆栽等が所狭しと飾られています。

二階では和室を舞台に見立てて、いろいろな余興が催され、その合間には、婦人会の心づくしの郷土料理、毎年好評のぜんざいと、じゃがバター！本当においしい物がいっぱい！最後にビンゴゲームで締めくくり、笑いの絶えない和気あいあいの一日となります。

二つ目は、「軽スポーツの集い」として、地区住民の健康増進と親睦を図るため、毎年新しいゲームを取り入れて楽しんでいきます。今年は、ジャガイモをゴルフボールに見たてたパッティングゲームが好評でした。思うように転がらず、打つ度に大爆笑の連続でした。

(一光地区社会福祉協議会

会長 竹田 法英)



## 一乗地区

### 福祉まつり 「彼岸まつり」共催

一乗地区は、7自治会で全戸229軒の小さな地区です。

毎年恒例となっている福祉まつりは、敬老会、公民館祭りと同様に「彼岸まつり」として、9月のお彼岸の頃に小学校の体育館で開催しています。今年も小学生の合奏や歌、足羽第一中学校の吹奏楽部の演奏や詩吟、日本舞踊などがぎやかに行われました。



今年は、初めての試みとして、ハンドマッサージをご希望の方に体験して頂きました。地区のあさくらデイサービスセンターの看護師さんと連携して血圧を測り、手や腕をさすりながら体調の事などのお話をしました。体験された方々からは、とても気持ちよかったです、楽になった気がする」と好評でした。

アトラクションの合間には、軽い体操で体をほぐしたり、おもしろおかしい「認知症予防のお話」で笑ったり、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。JA女性部のスコープ三味線や和太鼓衆・朝倉の演奏もあり、今年も大盛況の一日でした。

公民館、自治会連合会、各種団体の方々のご努力のおかげで、良かったちでお祭りが続けられて、とても感謝しています。

(一乗地区社会福祉協議会

会長 坂下 義博)

